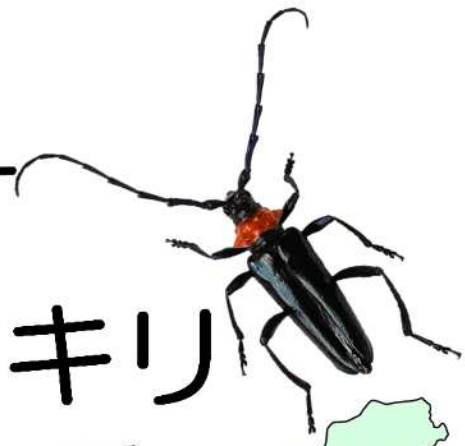


要注意!

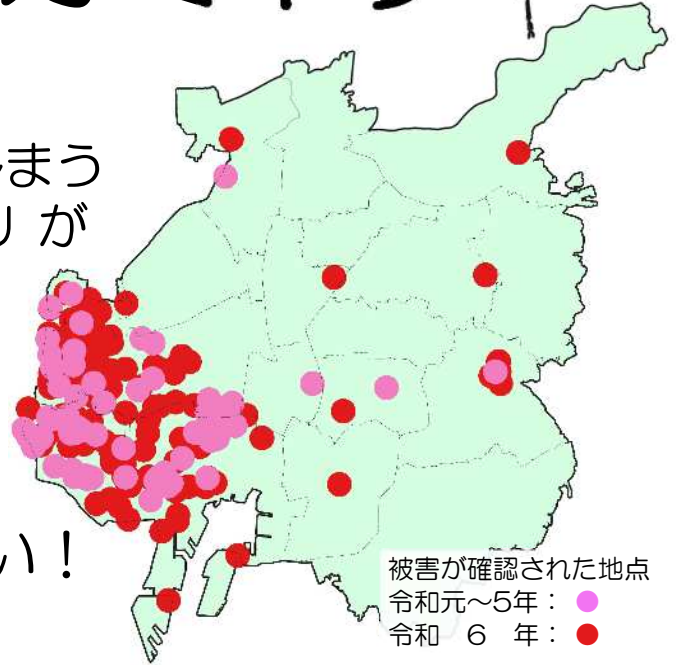
# 桜を枯らす クビアカツヤカミキリ



サクラ・ウメ・モモなどに寄生し  
幼虫が樹の内部を食べて枯らしてしまう  
特定外来生物 クビアカツヤカミキリが  
市内全域に拡がりつつあります。

オレンジ色の木クズを見たら  
なごや生物多様性センターへ

ご連絡ください!



名古屋市環境局 なごや生物多様性センター

【電話】052-831-8104

【E-mail】bdnagoya@kankyokyoku.city.nagoya.lg.jp



メール送信用  
二次元コード

# 樹木点検のポイント

- 主な被害樹木は「サクラ・ウメ・モモ・スモモ」です。
- 被害樹木からは、4～10月頃にかけてフラスと呼ばれる幼虫のフンと木クズの混ざったものが出てきます。定期点検（少なくとも春・秋2回）により、このフラスを見つけることが重要です。
- フラスは幼虫が樹皮に空けた穴から出されます。穴の位置は地面から1 m程度までに多く、地表に出た根で見られることもあります。
- フラスの色は生木特有の明るいオレンジ色です。ただし、数カ月たつと色あせて黒ずんできます。
- フラスの形はゴマを薄切りにしたような1～2mmの粒子が、ひき肉状に固まっていることが多く、穴のまわりに付着したり地面に降り積もったりしています。

## 【参考写真】



穴からひき肉状にぶら下がる。太さは約5mm



ひき肉状ではない例



粒子の形で他の昆虫と見分けることができる  
この写真には繊維状のものが多い



## 【拡大写真】



## クビアカツヤカミキリ

【分 類】 コウチュウ目 カミキリムシ科

【自然分布】 中国, モンゴル, 朝鮮半島, 台湾, ベトナム

【移入分布】 埼玉県(2011年), 愛知県(2012年), 群馬県・東京都・大阪府・徳島県(2015年), 栃木県(2016年), 茨城県・三重県・奈良県・和歌山県(2018年), 神奈川県(2021年), 京都府・千葉県(2024年)  
愛知県内の分布は名古屋市の飛鳥村, 弥富市, 愛西市, 蟹江町, 津島市, あま市, 大治町

【形 態】 体長22～38mm。体全体は光沢のある黒色。胸部は赤色で側面にとげ状のコブをもつ。

触角は黒色でオスは体長の1.7倍ほど、メスは体長より少し長い程度

【生 態】 サクラ, ウメ, モモ, スモモなどの樹木に寄生する。幼虫は樹木の内部で1～3年過ごし形成層周辺を食害, 被寄主は衰弱し枯死に至る。成虫は6～8月ごろ出現する

【そ の 他】 特定外来生物として平成30年4月1日規制開始(生きたままの移動や飼育等は違法)